



令和7年12月1日

大阪市こども青少年局長 佐藤 充子 様

大阪市教育委員会教育長 多田 勝哉 様

城東区長 吉村 悟 様

大阪市立鯉江東小学校 PTA

会長 宮本 護

大阪市城東区 PTA 協議会

会長 川東 太郎

児童いきいき放課後事業における活動環境の改善について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記の通り要望いたしますので、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

要望の趣旨：本校の「児童いきいき放課後事業」は、児童が放課後を安全かつ安心に過ごすための大切な居場所として、保護者から大きな期待が寄せられています。しかしながら、現在の運営環境は、登録児童343名のうち約130名が実際に参加しているにもかかわらず、利用可能な教室が1室のみという極めて限定的な状況にあります。このため、子どもたち一人ひとりが安心して落ち着いて過ごせる環境の維持・向上に大きな支障をきたしております。

現状の課題：・教室1室に多数の児童が密集しており、極めて過密な状態が常態化している

- ・静かに過ごしたい児童と、活発に遊びたい児童の双方が満足できる環境が整っていない
- ・熱中症リスクや感染症拡大など、健康・安全面での懸念が大きい
- ・スペース不足により、参加を控える児童が出てしまうなど、事業本来の目的が十分に果たされていない

要望事項：1. 校内の空き教室の確保・特別教室等を活用した活動スペースの拡充

現在の教室1室では児童数に対し環境が不十分であり、複数教室の活用、あるいは仮設校舎の設置など、柔軟な対応を直ちにご検討いただきたい

2. 特別教室・体育館への空調設備の早急な整備

プール改修の影響で雨天時に運動場が使用できない中、利用頻度が高い特別教室や児童いきいき放課後で使用する可能性もある体育館には空調が未整備であり、健康・安全の観点からも最優先での空調整備をお願いしたい

3. 登録児童数に応じた適正な利用定数・環境基準の見直し

343 名という登録児童に対し、現状の定員・環境基準は実態に合致していないため、利用児童数に応じた適正な基準の見直しをお願いしたい

4. こども青少年局と教育委員会の連携強化と協議会の設置

現在、教育委員会は「児童いきいき放課後は学校教育とは無関係」との認識であるが、実態として学校施設を使用する事業であり、教育環境とも密接に関わる。よって、両局が連携して学校現場を支援する協議体の設置を求める

本校の児童にとって、放課後いきいき事業は生活の安心と学びの基盤であり、環境の改善は喫緊の課題です。子どもたちの健やかな成長のために、上記の点について、早急なご対応を強く要望いたします。

以上